

東欧の名門オーケストラと現代最高のヴァイオリニストが邂逅！
地を揺るがす重低音に清冽な弦。スラブの響きに感動必至！

ポーランド国立放送交響楽団

Polish National Radio Symphony Orchestra

2021.
7月

独奏：庄司紗矢香 (ヴァイオリン)
Sayaka Shoji, Violin

指揮：ローレンス・フォスター
Lawrence Foster, Conductor

半年ぶりのニュースレターになります。皆様方におかれましては、コロナ禍でたいへんなご苦労をされていることと存じ、心よりお見舞い申し上げます。

舞台芸術に携わる私たちにとって、予定していた公演が開催できないことは何よりも厳しいことで、私自身も、数年かけて温め続けてきた企画、全国各地足を運んでお願いした結果取り上げてくださった公演がこんなにも簡単にキャンセルの憂き目に遭い、心より残念に思うと共に、我々のアーティストの出演の機会を守れない無念さ、期待して下さったお客様に公演をお届けできない悔しさでいっぱいです。

当初は夏くわく様にお届けできず、夏くわく様もご迷惑に思いましたが、未だ見通しが立たない上、このところ感染者数が増えるにつれて「来年のオリンピックも中止では」と悲観的な事を言う人たちも増えてきました。

私自身は、適切な対策で早めの制御が可能と考えます。例えば、ピーク時には1日800人もの死者を出していたニューヨーク州が7月中旬に死者ゼロとなりました。クオモ知事は州内を10の地域に分け、総入院患者数、1日あたりの死者数の継続的な減少、病院の患者収容力を含む7つの基準を設け、それをクリアした地域から経済活動を再開するガイドラインを設けて実践したほか、一日のPCR検査数を6万人まで拡大、検査は市内のあちこちにある病院や特設会場でも無料で行われ、結果は3～5日が出るようになっていました。また濃厚接触者の追跡を行うトレーサーが3000人もいて、日々感染経路の特定やクラスター潰しを行うなど、適切な対策を行っています。

かたや日本では、毎日感染者数の増加をただ騒ぐばかりになっていきます。もちろん警鐘は大事ですが、単に感染者の数だけではなく、ニューヨーク州のように総入院患者数、病院の患者収容力、陽性率の推移等を冷静に分析して報道すべきと考えます。また、ニューヨークのみならず中・韓・台湾なども検査数の増加と感染者の追跡の徹底で感染を抑えています。適切な対策とはそういうことではないでしょうか。

今のこの日本の状況をただ怖がって、ヒステリックに悲観するのではなく、政府や自治体に対して、より具体的な取り組みを求めるなど、一人一人が具体的なアクションを起こしてみたいかがでしようか。自治体への手紙や新聞への投書等、声を届ける手段はいくらでもあります。

キャンセルの痛みや終わりが見えない不安から、業界全体が弱気の空気を帯びてきているように感じます。しかし、皆が受け身にならず積極的に動くことが少しでも早くの収束に繋がります。ひいては早期の公演再開へとつながるのではないかと考えます。自省も込めて申しますが、いくらか嘆息のところでコロナは消えないので、今こそ弱気の虫を退治し前向き積極的に取り組みましょう。そうして、素晴らしいステージを提供できる日を一刻も早く取り戻そうではありませんか！

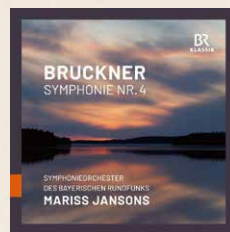
2020年7月28日
株式会社テンポプリモ 代表取締役

中村聡武



今月のおすすめ CD

昨年末に惜しまれつつ亡くなった名匠、マリス・ヤンソンス。当時私は少女合唱団のツアーでてご舞いになりながらも、ひとり悲しみに暮れたのを思い出します。ヤンソンスの魅力と言え、オーケストラから生き生きとした音楽を引き出すところでしょうか。弦楽器のフルボウイングから生まれる豊かな響き、管楽器の歌のようなニュアンス、そして要所要所を引き締めていくティンパニ。オーケストラを聴く喜びを教えてくださいたいです。ご紹介するCDはブルックナーの交響曲第4番、ミュンヘン・ガスタイクでのバイエルン放送交響楽団とのライブ録音です。デュナーミクがありながら力みなくしなやか、抒情味にあふれるブルックナー、まさに「ロマンティック」。ヤンソンスの朗らかな指揮姿が目に見え、温かい響きに包まれてみてはいかがでしょうか。(久世)



レーベル: Br Klassik No. 900187
マリス・ヤンソンス指揮
バイエルン放送交響楽団
2020年4月16日発売

くるみとピーターの

美しいねこ生活

事務員タナカには、自宅に2匹の猫がいる。6歳になる姉弟猫で、名をくるみ(♀)とピーター(♂)という。メスのくるみは白地に茶トラぶちの毛色で、初めてみた時に顔が「大福みたい」に丸かった。見た目から名付けると「大福」となるが、女の子に大福はさすがにかわいそうだと、比較的形が似ている「くるみ」を思いついた。季節はクリスマスシーズンであり、脳裏に「くるみ割り人形」がよぎったのである。配偶者の了解を得て、もう片方の黒猫の名前を考え始めた。数日前にピーターラビットの絵本を開いたことから、「ピーター」はどうだろうと思いついた。偶然にも、くるみ割り人形を作曲したのもピーター(ビョートル・イリイチ・チャイコフスキー)。これで決まりだ。そんな音楽的な名を持つ彼らは、保護猫ボランティアから譲り受けた元野良猫だ。受け入れる保護猫は兄妹(または姉弟、明確には不明だが)猫で、新生児の育児に自信がなかったため生後半年～1歳未満がいいと考えていた。条件にぴったりだったのがくるみとピーターだった。さらに1匹は黒猫という条件はマスト。「黒猫は一家に金運をもたらす」のがその理由だが、今のところその恩恵にはあらず。(つづく)



編集後記

忘れもしない1月30日、私はフルティストのアテンドで大阪に滞在していました。折しも大阪で最初のコロナ感染者が確認されたとのニュース、あらゆるコンビニからマスクが忽然と消えた衝撃を、昨日のことのように覚えています。あれから早くも半年、まさかこんなことになるとは…。テンポプリモも大きなツアーが4つ、他にもいろいろな公演が中止や延期になりました。全国のホールや主催者の皆さまも同じような状況と察します。各地でのオーケストラの活動再開のニュースを本当に嬉しく拝読している今日このごろ。まずは皆さまのご健康を、そして満員のお客様を迎えられる日々が少しでも早く戻ることを願ってやみません。(久世)

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co., Ltd. Management Office

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階

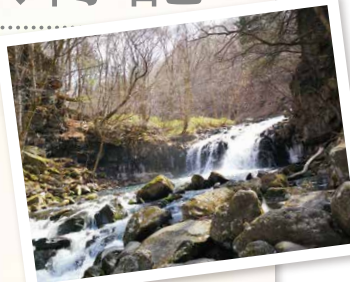
経営理念

株式会社テンポプリモは、全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念と致します。

TP宮嶋の

ぶらり旅行記

これまで、コロナ・ウイルスの影響で外へ旅行に行くことが出来ずにいましたが、Go To キャンペーンが始まるなど、旅行を計画される方も多いかと思います。かくいう自分も、よく休みを取って一人で温泉に行くのが楽しい人間の一人。せっかくの機会、ちょっと音楽から離れて一息つきましょ！



今年1月のツアーが終わり、ちょっとお休みを頂いて、長野県は諏訪の近くにある蓼科温泉に行ってきました。ホテルは、蓼科グランドホテル滝の湯。この売りは、川沿いに見おろす形で作られた景色の良い棚田型の大浴場。館内は綺麗で清潔感溢れていて、バイキング形式の夕食なども好印象。肝心の大浴場は、ポイントの棚田型に配置されてある湯舟どうしの段差が意外とあまりついていないため、実際入って見ると、思ったほど川を見下ろせる形になっていない、その特徴を十分には楽しめなかった印象。でも、夜の星空は綺麗でかつ静かなので、大自然に囲まれてお湯につかれるなど、ゆっくり堪能出来ます。

しかし、温泉とは別でどうしてもお薦めしたいのが、近くにある蓼科大滝。

ホテルから、いまいち分かりづらい看板(途中でめんどくさか書かれてない)に従い道なき道(Google Mapも途中でめんどくさか道がない)を進むと約20分。見事な絶景がそこに！ちょっとした小屋がありますが、全く手すりなど視界を遮る物はなく、すぐ近くで絶景を見ることが出来ます。何人か若い人が来ていたので、ちょっと有名なスポットかもしれません。中々に迫力ある滝は見ものです！もちろん、他にも近くにいくつかホテルはあり、日帰り入浴も出来ます。この機会に、ぜひ蓼科へ。

ホテル紹介

蓼科グランドホテル 滝の湯
〒391-0301
長野県茅野市北山蓼科4028

交通

JR中央線 茅野駅より路線バスにて約30分(ホテルから無料送迎バスも有り)

ちなみに、最寄り駅である茅野駅のすぐそばに茅野市民館がありますが、線路側の壁が一面ガラス張りになっていて、それは非常に綺麗でした。

※この記事は、緊急事態宣言発令前の旅行をもとに作成しました。

TEL: 03-3524-1221 FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprimo.co.jp
www.tempoprimo.co.jp

Tempo Primo
編集・発行 株式会社テンポプリモ

Recommended Artist Vol.6

今月のイチオシアーティスト

2021年
9月-10月

全ヨーロッパ・全米大ヒットのクラシック・エンターテインメント、遂に日本初上陸！

テンポプリモが満を持して招聘する「ピアノ・バトル」、言うなれば「ピアノ版紅白歌合戦」。それぞれ黒と白のスーツで決めた長身イケメンピアニスト、ポールとアンドレアスが演奏で対決し、勝敗を観客が決める新しい形のコンサートです。2010年に香港音楽フェスティバルに際して結成され、母国ドイツでもベートーヴェン音楽祭、ラインガウ音楽祭等に招待、ベルリン・フィルハーモニーでも公演を行うなどクラシックの本場で受け入れられると共に、メディアに取り上げられて世界的に大ヒット。これまでに世界各国で25万人もの動員を誇っています。名曲対決、超絶技巧対決、エンタメ対決等5ラウンドに渡り、ステージ上で男たちの熱い戦いが繰り広げられる！



Point① 観客参加型でアツい！

5 ラウンドに渡る 2 人の対決。ラウンドごとに決める勝敗は、観客が手元のプログラムを掲げて判定します。どちらが勝つかはお客次第！

Point② 面白い、そして上手い！

フランス音楽をこよなく愛し CD も数多くリリースしている黒のポール、マイスキー、カブソン、サラ・チャン、レーピンらとも共演してきた白のアンドレアスと、本格派ピアニストとしての実力は折り紙付きの 2 人。一方でテレビ番組への出演、俳優やダンサーとの共演を行うなど、エンターテインメントも知り尽くし、お客様を 1 秒たりとも飽きさせません。お互いをディスるトークも絶妙！

Point③ ピアノの可能性を再発見する一夜！

古典の名曲「月光ソナタ」から、定番のショパン、ドビュッシー、そしてエキサイティングな現代音楽に至るまで、ピアノの魅力を余すところ無く堪能できます！

勝敗を決めるのはあなた。名曲からポップスまで
手に汗握るピアノ5番勝負！

※<https://pianobattle.com/media/>

動画はこちらからご覧ください！



誰もが
気になる

情報コーナー

コロナ禍での座席数制限について

ただ今各地の主催者悩ませているのがソーシャル・ディスタンスを前提とした市松模様の配席です。総客席数の半分か入場できないことで完売しても採算が成り立たず、このままでは中々興行を行うのが難しい状況です。

8月頭には50%規制のガイドラインが全席利用可能と改定される向きもありましたが、感染者数の増加により一か月の延期となりました。ただし、弊社も加盟するクラシック音楽事業協会をはじめ業界各団体による「クラシック音楽公演運営推進協議会」が経済産業省等と折衝を行い、早期の座席数制限の緩和を目指しております。

こうした動きについては、特に地方の主催者様がその同行が分からずお困りになられていると伺っております。当方からもこのニュースレターや営業の機会を通じて積極的に情報提供させていただきます。また、お気軽に営業担当にご連絡いただければ詳しくお知らせいたします。



小林研一郎指揮「ハンガリー・ブダペスト交響楽団」



ジュリアン・ラクリン指揮「ミュンヘン交響楽団」
(ピアノ：モナ・飛鳥)

る楽団員に対して、繰り返し何度も「何でそんなに緊張しているのですか？もっと笑ってください」と真顔で話すマエストロ。シンフォニック・カペレとのリハーサルでは、非常に厳しい姿勢で臨んでいましたが、ここでは常に緊張をほぐそうとするマエストロ。何度もロシアのアネクドート（小噺）を話して通訳を悩ませたり、先日 Youtube で公開された「くるみ割り人形」の2幕では時々踊りをつけたりしながら指揮したり。終始自然な音楽を引き出そうとする姿勢が感じられました。そして見事に、シンフォニック・カペレのサウンドとほとんど変わらない、まさにポリヤンスキーの音楽が生まれていました。

もう一つ意外だったのが、来日ツアーでは寡黙だったマエストロが、ずっと一緒にだった初めての通訳の方へ、常に表情豊かにいろいろなお話を話されていたこと。最終リハーサル日の夜も、「音楽の力は本当に強いもので、人を感動させたり、笑わせたり、いろいろなことが出来る力があります。音楽が持っている力というのは、本当に凄いのですよ。」と語り、それを楽団員に言うべきですよ、と答えると、「その必要はない。みんな分かっていますよ」と頑なに答えたり。

英語をほとんど使用しないマエストロ。しかし、「音楽の力」を信じ、言葉の壁をもろとせず楽団員からの尊敬を集め、音楽を生み出す姿は本当に感動的でした。マエストロは、今度は2021年7月に新日本フィルハーモニー交響楽団に客演します。メッセーじ性がより強いシヨスタコーヴィッチの作品で、どんな「音楽の力」を導きだしてくれるのか楽しみです。(宮嶋)



画像提供：九州交響楽団

テンポプリモ2021年度ラインナップ発表！

上半期は4月に、チャイコフスキーコンクール優勝ピアニストのドミトリ・マスレーエフの来日を皮切りに、5、6月には小林研一郎指揮「ハンガリー・ブダペスト交響楽団」、7月はローレンス・フォスター指揮「ポーランド国立放送交響楽団」(ヴァイオリン：庄司紗矢香)と大型ツアーが続きます。オリンピックが挟んで9月、10月には「ピアノ・バトル」。欧米各国で25万人の動員を達成した人気公演の初の日本ツアーで注目を集めており、今年最も多くのオファーをいただいております(早い者勝ちです)。10、11月にかけては、今年3月の来日が直前中止となったものの主催者様、出演者、そして私たち関係者が皆再来日を熱望して行われるジュリアン・ラクリン指揮「ミュンヘン交響楽団」(ピアノ：モナ・飛鳥)がオール・ベートーヴェンプログラムで来日します。12月はドイツ正統派の大物チエリス、ダニエル・ミューラー・ショットがN響定期に客演し、前後にバツハ・無伴奏リサイタルを行います。年末の「ダフル第九」(新世界&歓喜の歌)の大型プログラムが毎回絶賛を博し今回9回目となる、「ニコライ・ジャ



ドミトリ・マスレーエフ

ジュラ指揮「キエフ国立フィルハーモニー交響楽団」のツアー、そして2022年1月には、各地完売を続出させたクラシック・エンタテインメント「シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー」が3度目の来日を果たします。この他、アレクサンドル・ラム(チェロ)、サラ・マクエルレイヴィ(ヴァイオリン)、ジャズミン・チェイ(フルート)、ヤボルカイ兄弟(ヴァイオリン&チェロ)、モーツァルトハウス・ウィーン弦楽四重奏団など一流の演奏家の招聘が続く。さらに2022年を先取りすると、ラファ・シャニ指揮「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団」(一)が来日。世界の5本の指に入るハイクラスのオーケストラが気鋭の若手マエストロと共に2014年以降のツアーを行います。下半期はこちらも超一流、トレヴァー・ピノック指揮「ザルツブルク・モーツァルト・ウィーン管弦楽団」がオール・モーツァルト・プログラムで来日します。

テンポプリモの招聘公演には今後も目を離せません！

次年度以降の弊社企画

2021年度

オーケストラ

5-6月 ハンガリー・ブダペスト交響楽団(指揮：小林研一郎)
7月 ポーランド放送交響楽団(指揮：ローレンス・フォスター)
10-11月 ミュンヘン交響楽団(指揮：ジュリアン・ラクリン)
12月 キエフ国立フィルハーモニー交響楽団(指揮：ニコライ・ジャージュラ)
2022年4月 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団(指揮：ラファ・シャニ)
11-12月 ザルツブルク・モーツァルト・ウィーン管弦楽団(指揮：トレヴァー・ピノック)

エンターテインメント

9-10月 ピアノ・バトル
2022年1月 シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー
6-7月 トリニティ・アイリッシュ・ダンス

指揮・ソロ・室内楽

4月 ドミトリ・マスレーエフ(ピアノ)

5月 ヤボルカイ兄弟(ヴァイオリン&チェロ)
ウィーン・モーツァルトハウス弦楽四重奏団
6月 ヴァン・マルディロシアン(指揮：ピアノ)
7月 ヴァレリー・ポリヤンスキー(指揮)
10-11月 ジュリアン・ラクリン(ヴァイオリン)
12月 サラ・マクエルレイヴィ(ヴァイオリン)
12-1月 ニコライ・ジャージュラ(指揮)
ヴァン・マルディロシアン(指揮：ピアノ)
2月 ヴァレリー・ポリヤンスキー(指揮)
調整中 サラ・チャン(ヴァイオリン)
ジャズミン・チェイ(フルート)
アレクサンドル・ラム(チェロ)
ブラムウェル・トウヴェイ(指揮)

ライオン・バンクロフト(指揮)
マイケル・シール(指揮)
ジャン・レイサム＝ケーニック(指揮)

邦人企画

ららら♪クラシックコンサート
川島成道ヴァイオリン・リサイタル
横浜シンフォニエッタ(指揮：山田和樹)
假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」
みんなのうたコンサート
デーモン閣下が贈る能楽公演「幽玄悪魔」
言の葉コンサート「尾上松也・竜馬がゆく」
坂東玉三郎トークショー

ほか

Tour Report

ツアーレポート

ヴァレリー・ポリヤンスキー
(指揮者)

九州交響楽団
2019年12月11日



「音楽の力をもっと信じてください」名指揮者ロジェストヴエンスキーに師事し、長年、ロシア国立交響楽団・シンフォニック・カペレの音楽監督として活躍。同オケと一緒に3度来日し、名演奏を繰り広げてきたヴァレリー・ポリヤンスキーによる日本のオケへの初客演が実現しました。オーケストラは近年、音楽監督の小泉和裕の下、高い評価を得ている九州交響楽団。今回、自分は最終リハーサル日と公演当日に立会いました。

リハーサル中、巨匠を前に終始緊張す